

1 補助事業の概要

・現在の施設（特別養護老人ホーム：平均介護度4.1）に設置している特殊浴槽は、3台あるものの14以上経過し老朽化、機能・性能も最新の物より劣ります。また、特殊浴槽の設置場所が81.5㎡の浴室であり、3台を同時に稼働させるには狭く、動線も悪く安全も担保できない状態です。入浴に時間と介助者への負担がかかり、利用者にゆっくりと快適な入浴が十分にできていない状態です。

新たに特殊浴槽を更新することで、利用者の一人ひとりに合った姿勢での入浴と安全で快適な入浴の提供できます。また、新たなタイプの特殊浴槽のリフトを導入し、別室の一般浴室の浴槽に設置することで、特殊浴槽の浴室のレイアウトを変更。広さと動きやすい動線を確保することが可能となります。また、安全に利用者を移乗する機能もあり、利用者の安心と介助者の介護負担軽減と作業環境の改善することが期待できます。

機器を導入した成果については、アンケート集計結果を参照ください。

1 浴室改修後の入浴業務の動線等、業務効率は改善されましたか。
51件の回答



2 浴室改修後、安全に入浴及び介助ができるようになりましたか。
51件の回答

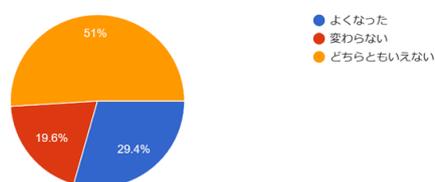


3 1及び2で「よくなった」と回答された方は、具体的に記入ください。

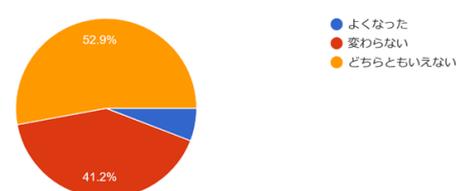
- ・寝浴は両側から介助出来るようになった。
- ・動線が短くなった
- ・広くなり以前より移乗しやすい。
- ・床のめくれが改修され、安心安全に歩けるようになった
- ・寝浴に入る位置が低い事で安全、寝台の角度の調整も出来とても良いです。動線がまだ定まらないので、車椅子の置き場、棚の配置を決める事でスムーズに効率よくなると思っています。
- ・ベルトとか下のクッション材がとれなくなった。
- ・フリースペースが広くなり、動きやすくなった
- ・介助浴は床面が新しくなり安全になった。
- ・寝浴を挟む形で寝台を置けるので入浴する動線がスムーズになった。
- ・設備等が整ったことで、安全面に関してはとても良くなったと思います。
- ・一般浴場の横手すりを短くしたことで出入口が広くなり通行しやすくなったこと。
- ・全体に広くなったので動きやすい

- ・滑りにくなりました。リフト浴などで入れる人が楽に入浴できるようになりました。
- ・広くなり以前より車椅子がごちゃごちゃにならなくて職員が動きやすい。
- ・正直なところ、まだ座浴浴槽の位置や物品が整っていないのが現状ですが、座浴、寝浴のストレッチャーの動線が交差しないよう今回、機械の場所の配置をしたので、その点では改善されていると思います。ただ、寝台の位置やタオル、処置台を置く場所など定まっておらず、いろいろと試している段階なため現時点でははっきりしたことは言えません。
- ・機械が使いやすくなり、利用者さんの危険な場面が減っている。

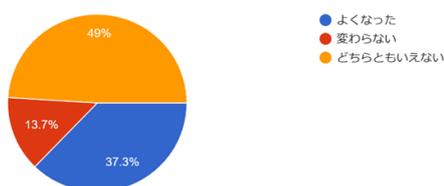
4 機械浴槽について、新機種及びリフト浴を導入して、業務の改善・効率化は図れましたか。
51件の回答



5 新しい機械浴槽になり、腰痛予防等、身体的負担は減りましたか。
51件の回答



6 新しい機械浴槽になり、利用者の方は、安全に快適に入浴できるようになりましたか。
51件の回答



7 4～6 で「よくなった」と回答された方は、具体的に記入ください。

- ・入浴形態の棲み分けができるので
- ・機械が使いやすく感じた。
- ・座浴の座椅子の背もたれの調整が出来、姿勢を保ちながら入浴できる。入浴時、足元まで見えるのも良いです。
- ・機械の作りも昔のものより快適に作られている。
- ・実際に使用しない職種なので分からないが、安全に入浴できていると思う
- ・寝台にしっかりした柵がついて安心できるようになった
- ・ゆっくりと入浴できるようになりました。
- ・まだ機械の位置や必要物品が整っていないのでこれから良くなっていくと思う。機械の操作が微妙に変わったことにまだ慣れていないので、慣れてくれば職員の動きも良くなり、全体としても業務の効率化には繋がると思う。
- ・慣れるまでに時間はかかるが利用者様を固定するベルトが増えたので安全性は増したように思う
- ・移動や操作、介助等の動きが良くなり、職員の身体的な負担も軽減されました。

- ・機械浴槽等が新しくなったことで、安楽な姿勢で入浴することができている。
- ・座浴の手のひらを乗せる板と肩の側面の板が良い。
- ・寝浴が両側から入れるので、移動が少なく済むようになった。前より寝台を低く出来るので移乗が楽に安全に出来る様になった。足元がフラットなので、前のものは足先がひっかかりそうでヒヤリとしたことがあったが、それが無くなり良くなったと思います。
- ・利用者が見守りしやすい。
- ・一般浴でもリフト浴が使えるようになったこと。
- ・リフト浴を使用し待つ時間が少し減ったのではないかと思った。

2 予想される事業実施効果

利用者の安全・安心な入浴、入浴の自立支援、職員の介護負担の軽減及び作業時間の短縮等の改善が期待できます。特殊浴槽の機能を活かし抱える動作が減少し、腰痛軽減や精神的負担間の軽減、浴室での転倒等の事故の減少が期待できます。

その結果、働きやすい職場環境の整備に繋がり、介護人材の安定的な確保が期待できます。また、当施設はショートステイやデイサービス部門も併設しており、地域の比較的重介護の方も多く受け入れています。最新の特殊浴槽を更新するとともに、新たなリフト浴を整備することで、自立支援や地域の多様な入浴ニーズに応えることが可能となります。

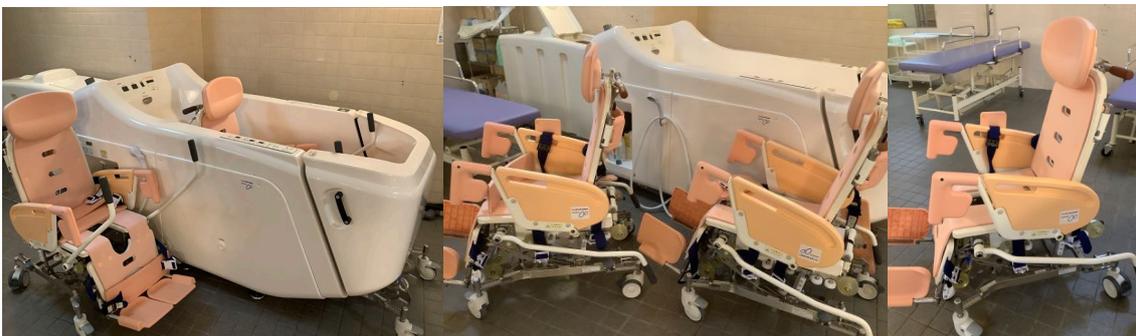
3 本事業により導入した機器

① 特殊浴槽

特殊浴槽の更新及び新たなタイプの特殊浴槽導入

機械浴室の設備の更新

- ・座浴：マルチモーションチェアバス ルーミイ、シャワーチェア
- ・使用用途：立位困難な要介護状態ではあるが、背もたれの使用で座位保持可能な人の入浴を安全に提供する。



- ・寝浴：セレクトバス マリンコートリモ、電動コンパクトストレッチャー、フラット担架
- ・使用用途：支え座位も困難な人、あるいは医師に上体を起こすことを禁じられている人な

どが、寝たままの姿勢で入浴を安全に提供する。



一般浴室リフト浴導入

- ・バスタブ、リフト付シャワーキャリー
- ・使用用途：立位困難な要介護状態ではあるが、背凭れの使用で座位保持可能な人の入浴を安全に提供する。

施設玄関の写真



設置場所【特別養護老人ホーム南山の郷】

② 本事業に係る印刷物等

特別養護老人ホーム南山の郷 おしらせ新聞 第162号



4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名 : 社会福祉法人愛知育児院

住 所 : 〒466-0835

愛知県名古屋市昭和区南山町5番地

担当部署 : 特別養護老人ホーム南山の郷

担当者名 : 施設長 古川忠利

電話番号 : 052-831-3451

F A X : 052-831-3452

E-mail : aichi.ikujiin.120@nanzan-v.com

U R L : <http://www.nanzan-v.com>